

令和8年度 学力向上アクションプラン

学校番号

140

江戸川区立下鎌田東小学校

「全国学力・学習状況調査」平均正答率東京都との差				「江戸川区学力調査」平均正答率全国との差								
学年	第6学年			学年	第3学年		第4学年		第5学年		第6学年	
年度	国語	算数	合計	年度	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数
令和12年度の目標				令和12年度の目標								
令和11年度の目標				令和11年度の目標								
令和10年度の目標				令和10年度の目標								
令和9年度の目標				令和9年度の目標								
令和8年度の目標	0	0	0	令和8年度の目標	1.0	2.0	1.0	2.0	1.0	0	0	0
令和7年度の結果	-9	-8	-17	令和7年度の結果	-0.5	0.5	-0.8	0.1	-1.3	-4.9	-7.6	-6.5
令和6年度の結果	-4	-4	-8	令和6年度の結果	-4.8	-13.8	-8.8	-20.0	-6.4	-8.9	-1.7	-1.0
令和5年度の結果	-1	-2	-3	令和5年度の結果								

年度	令和7年度 成果と課題			令和8年度								
内容	成果と課題			目標			目標達成に向けた取組					
学校全体	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 国語科では、校内研究で読解力向上のためにラーニングマウンテンを活用した。また、読解力向上のために教科書付録の「言葉の宝箱」を活用した取り組みを行った。 算数科では、江戸川区授業スタンダードを基にした授業を展開することができた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 読解力は向上したが、十分ではない。引き続き昨年度の取り組みを継続し、文章を読み取る力を高める。 基礎となる計算力を高める。問題文を正確に読み取り、自分の考えを分かりやすく表現する力を高める。 			<p>文章読解力とその基礎となる読解力の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> 算数の基礎的・基本的な知識・技能の定着 正答率四分位の分布におけるD層の児童割合を25%以下にする。 			<ul style="list-style-type: none"> 学校公開で国語の読む単元の授業を公開する。 国語辞典を使った意味調べや教科書付録「言葉の宝箱」、およびYOMUワークシートの活用などを学年・学級の実態に合わせ、年間を通して行う。 学期一回、全校で朝の時間を使って読み聞かせを行い、児童の読書への意欲を高め、読書を習慣化するきっかけとする。 百マス計算のプリントに週一回程度取り組む。 算数科の校内研究に取り組み、主体的に問題解決に取り組む児童を育成する。特に習熟のおそい（授業中、困っている）児童の学習意欲を高める教師の言葉かけ、授業作りを研究する。 					
第1学年	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 算数科の繰り上がりがあり、なしの計算問題や国語科の漢字、ひらがな、カタカナ、拗音、撥音、促音、調音などの文字の読み書きプリントを、授業の初めの5分間で継続的に取り組ませることで、基礎的な内容の定着を図ることができた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学習直後のテストでは解答だけでなく、学期末テストや作文などの別の学習で生かすことができる力を付けたい。 			<ul style="list-style-type: none"> 物事の順序を考えながら文章を読み取る力を身に付けさせる。また、身近なことを表す語句を増やす。 たし算・ひき算を理解し、基礎的な計算をする力を身に付けさせる。 			<ul style="list-style-type: none"> 毎週火曜日、たし算やひき算の百マス計算のプリントに段階的に取り組む。 文章を読むために必要な読解力を高めるために、「言葉の宝箱」の語句を使って文を作ったり、身近なことを表す語句集めを行ったりする。 算数科では、児童の「やってみよう」を生み出す課題提示や授業展開の工夫をする。 					
第2学年	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 年間を通して文作りや日記に取り組んだことで、自分の思いを文章で表現できる児童が増えた。読解力が向上し、読解力につながった。 九九検定を行い、計算が速くできるようになった。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 最後まで文章を読み、大切な語に着目して考える力を身に付けさせたい。 繰り上がりのあるたし算、繰り下がりのあるひき算の筆算や、問題文を読んで立式することが難しい。 			<ul style="list-style-type: none"> 物事の順序を考えながら文章を読み取る力を身に付けさせる。また、身近なことを表す語句を増やす。 たし算・ひき算・かけ算を理解し、基礎的な計算をする力を身に付けさせる。 			<ul style="list-style-type: none"> 毎週火曜日、たし算やひき算、かけ算の百マス計算のプリントに取り組む。 文章を読むために必要な読解力を高めるために、「言葉の宝箱」の語句を使って文を作ったり、身近なことを表す語句集めを行ったりする。 算数科では、児童の「やってみよう」を生み出す課題提示や授業展開の工夫をする。 					
第3学年	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 年間を通して国語辞典での意味調べを行うことで読解力が向上し、読解力も高まった。 「気持ちを表す言葉」を調べ、その言葉を用いた文作りを行い、文章表現力が高まった。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 読解力も文章表現力も、さらに向上させることが必要である。 算数などの用語・公式を正しく身に付け、立式・説明する力を向上させたい。 			<ul style="list-style-type: none"> 文章の中心を考えながら文章を読み取る力を身に付けさせる。また、様子や行動、気持ちや性格を表す語句を増やす。 かけ算・わり算を理解し、基礎的な計算をする力を身に付けさせる。 			<ul style="list-style-type: none"> 毎週火曜日、かけ算やわり算の百マス計算のプリントに取り組む。 文章を読むために必要な読解力を高めるために、「言葉の宝箱」の語句を使って文を作ったり、辞書を使って教科書などの新出語句の意味を調べる。 算数科では、児童の「友達と考えよう」を生み出す課題提示や授業展開の工夫をする。 					
第4学年	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 教科書付録「言葉の宝箱」を活用し、国語辞典での意味調べや文作りを行い読解力の向上が見られた。 算数科では既習事項を提示することで、学習内容を確認しながら新しい学習内容に取り組むことができた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 読解力のさらなる向上のために、音読や読書、文章の要約を継続して行う必要がある。 新しい学習に取り組む際には既習事項を活用するという意識を引き続きつけていきたい。 			<ul style="list-style-type: none"> 文章の筋道を捉えながら文章を読み取る力を身に付けさせる。また、様子や行動、気持ちや性格を表す語句を増やす。 小数のたし算・ひき算を理解し、基礎的な計算をする力を身に付けさせる。 			<ul style="list-style-type: none"> 毎週火曜日、かけ算やわり算の百マス計算のプリントに取り組む。 文章を読むために必要な読解力を高めるために、「言葉の宝箱」の語句を使って文を作ったり、辞書を使って教科書などの新出語句の意味を調べる。 算数科では、児童の「友達と考えよう」を生み出す課題提示や授業展開の工夫をする。 					
第5学年	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 年間を通して国語辞典を活用し、辞書を引くことに慣れることができた。 ワークシートを工夫したことで、文章構成を捉えながら文章を読む力が高まった。また、文章を書く際にも生かすことができた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 長い文章になると抵抗感を覚える児童も多いので、読書週間をつけることが必要である。 基礎的な計算や用語を確実に身に付け、自分の考えを説明する力を高めたい。 			<ul style="list-style-type: none"> 文章構成や要旨を考えながら文章を読み取る力を身に付けさせる。また、思考に関わる語句を増やす。 小数のかけ算・わり算を理解し、基礎的な計算をする力を身に付けさせる。 			<ul style="list-style-type: none"> 毎週火曜日、かけ算やわり算の百マス計算のプリントに取り組む。 文章を読むために必要な読解力を高めるために、辞書を使って教科書の新出語句や身の回りの語句の意味を調べたり、「言葉の宝箱」を使った文作りに取り組んだりする。 よむYOMUワークシートに取り組むことで、文章から必要な情報を読み取る力を育てる。 算数科では、児童の「自分の言葉で表現したい」を生み出す課題提示や授業展開の工夫をする。 					
第6学年	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 教科書付録「言葉の宝箱」を活用することで、読解力が向上した。 算数科の基本計算や漢字の読み書きなどは学力調査正答率の全校平均と同程度である。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 文章を読み取ったり、複数の情報を関連付けたりする力を付けることが必要である。読解力もさらに高め、自分の考えを筋道立てた文章を書く力もつけていく必要がある。 基礎的な計算や用語を確実に身に付け、自分の考えを説明する力を高めたい。 			<ul style="list-style-type: none"> 目的や意図に応じて文章から必要な情報を読み取る力を身に付けさせる。また、思考に関わる語句を増やす。 分数のかけ算・わり算をする力を身に付けさせる。 			<ul style="list-style-type: none"> 毎週火曜日、かけ算やわり算の百マス計算のプリントに取り組む。 文章を読むために必要な読解力を高めるために、辞書を使って教科書の新出語句や身の回りの語句の意味を調べたり、「言葉の宝箱」を使った文作りに取り組んだりする。 よむYOMUワークシートに取り組むことで、文章から必要な情報を読み取る力を育てる。 算数科では、児童の「自分の言葉で表現したい」を生み出す課題提示や授業展開の工夫をする。 					